

平成 17年3月

総社市

◆はじめに◆

1. バランスシート作成の意義・目的

バランスシートは、一定の時点において保有する全ての資産や将来返済しなければならない負債等の残高(ストック)の状況を総括的に表示した報告書で、本市の財政状況を市民の皆さんにより一層わかりやすくお知らせするものです。現行の地方公共団体の会計は、単年度における歳入と歳出を対比した収支会計であり、この方法では支出する金額のうち資産形成に充てられるもの(ストック=建設事業費や積立金、地方債の元金償還金等)と経費的なもの(フローニ人件費や物件費、維持補修費等)との区分の認識がなく、また、収入においても将来返済しなければならない地方債と市税等の一般財源や国や県からの補助金、積立金の取崩しなどを一緒に扱っています。バランスシートの作成は、経済活動の結果としての教育・文化施設や公園、道路などの資産の状況や、これら資産の形成のための財源として調達した地方債等の負債の状況などのストックとしての財政状態を明らかにすることによって、資産と負債等の状況を総括的に算出し、単年度の歳入歳出決算報告では把握できない部分を明らかにすることを目的としています。

2. バランスシート作成上の基本的前提

平成13年3月に総務省(旧自治省)から発表された「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」(以下「作成マニュアル」という。) に基づき作成しています。

(1)対象とする会計の範囲は普通会計としました。

対象会計(平成16年度)

一般会計

住宅新築資金等貸付事業費特別会計

公共用地等取得事業費特別会計

- *普通会計とは、地方公共団体における一般会計と公営事業会計以外の 特別会計を純計した地方財政統計上統一的に用いられる会計区分。
- (2) 作成基準日は、平成 17 年 3 月 31 日 (平成 16 年度) としました。 平成 17 年 4 月 1 日~5 月 31 日の出納整理期間の収支は、基準 日までに終了したものとして取り込んで処理しました。

- (3) 使用した基礎数値は、昭和 44 年度以降(平成 16 年度まで)の「決算統計」データを用いました。
 - *決算統計とは、地方公共団体の毎年度の決算状況を総務省が統一ルールに基づいて集計し、作成した統計。地方財政全体の毎年度の執行状況を表す基礎的な統計。
- (4) 流動・固定の区分については原則として1年基準によることとしました。

3. バランスシート作成上の留意点

- (1)企業会計が前提としている複式簿記による発生主義に基づく決算に よるものではなく、現金主義による収支決算に基づいてバランスシートを作成しています。
 - *現金主義とは、現金による収入又は支出を記帳の基準としているものをいう。
- (2) 基礎数値の対象年度を昭和 44 年度以降としているため、それ以前のデータは反映されていません。
- (3) 普通会計を対象会計としているため、本市で行っているその他の事業である水道事業や、下水道事業、健康保険事業等の公営事業会計の資産・負債の状況は反映されていません。
- (4) 固定資産の評価基準は、決算統計の普通建設事業費をもって取得価格とする取得原価主義によっています。

4. バランスシートの構成内容

バランスシートは、来年度以降の市民の皆さんに引き継ぐ財産と住民負担のバランスをみるためのもので、市にどのような財産があるのか、また、 どのくらいの負債があるのかを対比して一覧表にしたものです。

借方	貸方
[資 産]	[負 債]
(市にどのような資産があるのかを表	(市にどのくらい負債があるのかを表
示しています。)	示しています。)
来年度以降,市はこれらの資産を有	来年度以降,市は毎年度の経費に加
効に活用することによって市民の皆さ	えてこれらの負債の返済のため市民の
んに様々なサービスを提供することが	皆さんに負担を求めることになりま
できます。	す 。
	[正味資産]
	(資産-負債=正味資産で表示されま
	す。)

(1) 資産の意義・分類

資産とは一会計年度を越えて地方公共団体の経営資源として用いられると見込まれるものをいい、有形固定資産、投資等及び流動資産に分類して計上します。

① 有形固定資産は、税等を支出して形成された土地や建物等の固定 資産をいい、実際に投下された額を表す普通建設事業費をもって有 形固定資産の取得価格とし、昭和 44 年度以降の決算統計データを 基礎数値として用いました。

なお、国等から補助金等の交付を受けて整備した有形固定資産は本表上に資産として計上していますが、決算統計上普通建設事業費に計上されるもののうち、他団体(国・県・一部事務組合・民間等)に支出した補助金等によりその団体で資産形成される有形固定資産は本表上に計上しないこととしています。

- ② 有形固定資産の表示方法については、財政運営に役立つものとするため、総務費、民生費等の行政目的別に区分して表示しています。
- ③ 減価償却の方法等については、翌年度以降に継承される資産の価値を把握するため「作成マニュアル」で示された耐用年数に基づき定額法により減価償却を行いました。なお、土地については、減価償却を行わないこととしました。

- ④ 投資等は、「投資及び出資金」「貸付金」及び「基金」に分類し、 基準日残高を計上しました。なお、「投資及び出資金」については額 面により評価、計上し、基金のうち流動性の高いものについては流 動資産に分類しました。
- ⑤ 流動資産は、流動性の高い基金である「財政調整基金」及び「減 債基金」、形式収支に相当する「歳計現金」並びに「未収金」に分類 して計上しました。なお、「未収金」は「地方税」及び使用料等の未 収に係る「その他」に区分して計上しています。

(2) 負債の意義・分類

負債とは、資産形成の財源として調達した資金のうち、将来返済しなければならないもので、固定負債と流動負債に分類して計上しました。

- ① 固定負債は、市の借入金である地方債残高、退職給与引当金及び 債務負担行為額を計上しました。
 - ・地方債については、基準日における地方債残高から流動負債に分類される翌年度償還額を控除した額を計上しています。
 - ・退職給与引当金は、年度末に普通会計に属する職員全員が普通退職したと想定した場合の要支給額を引当計上しました。
 - ・債務負担行為額については、将来にわたり支払の義務を負うもので、既に物件の引き渡しを受けたものについては、今後の支払予定額をもって資産計上し、その見返り財源としての債務負担行為額を 負債科目に計上しました。

なお、債務負担行為のうち物件の引渡しを受けていないもの(支払い義務が終了した時点で市の資産となるもの)及び第三セクター等の損失補償に係る債務負担行為で既に履行すべき額が確定したものを除いたものは、バランスシートには計上せず欄外へ注記しました。

- ② 流動負債は、地方債のうち翌年度償還額及び翌年度繰上充用金を計上しました。
 - ・繰上充用金は、その会計年度の収支決算が赤字になる場合に、翌年度の歳入を繰り上げてその年度の歳入に充てるものであり、流動 負債として計上することとなっています。本市においては、繰上充 用金はありません。

(3) 正味資産の意義・分類

正味資産とは資産形成の財源として調達した資金のうち,将来返済を要しないもので,国庫支出金,県支出金及び一般財源に分類して計上しました。

なお,営利活動を目的としない地方公共団体のバランスシートにおいては,資本,持分等の名称は避け「正味資産」の名称を用いています。

- ・国庫支出金及び県支出金は、市が普通建設事業を実施する際、財源 として国及び県から受けた補助金等(原価償却分を除いた分)を計上 しています。
- ・一般財源は、市税等の財源の使途が特定されずどのような経費にも 使用できるものを計上しています。

バ ラ ン ス シ ー ト

(平成17年3月31日現在)

(単位:千円)

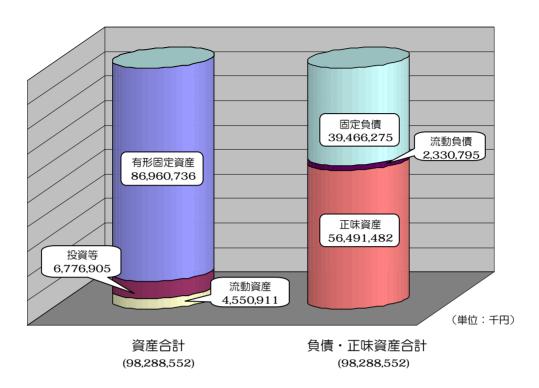
借				貸		<u>(</u> 単位:千円)
[資産の部]				[負債の部]		
1. 有形固定資産				 1. 固定負債		
(1)総務費		4,635,702				
(2)民生費		3,602,361		(1)地方債	33,773,227	
(3)衛生費		1,378,871				
(4)労働費		392,465		(2)債務負担行為		
(5)農林水産業費		5,892,436		① 物件の購入等	<u>0</u> _	40%
(6)商工費		3,352,170	88%	② 債務保証又は損失補償	<u>0</u> _	
(7)土木費		45,002,744		債務負担行為計	0	
(8)消防費		1,612,376				
(9)教育費		21,048,237		(3)退職給与引当金	5,693,048	
(10)その他		43,374				
計		86,960,736		(4)その他	0	
(うち土地		25,380,329				
有形固定資産合計		86,960,736		固定負債合計	39,466,275	
0. 机次生				0. 法私产生		
2. 投資等		2 256 510		2. 流動負債	9 220 705	2%
(1)投資及び出資金 (2)貸付金		3,256,510		(1)翌年度償還予定額(2)翌年度繰上充用金	2,330,795	<i>L</i> /0
(3)基金		411,330	7%	(2)笠牛及樑工兀用並	0	
① 特定目的基金	2,577,090		7 70	流動負債合計	2,330,795	
② 土地開発基金	520,975				, ,	
③ 定額運用基金	11,000					
基金計	11,000	3,109,065) 負債合計	41,797,070	43%
(4)退職手当組合積立金	Ť	0		X X I II	11,101,010	2070
投資等合計	_	6,776,905				
3. 流動資産						
(1)現金•預金				 [正味資産の部]		
① 財政調整基金	2,195,721					
② 減債基金	1,227,768			】 1. 国庫支出金	9,780,782	
③ 歳計現金	344,406		5%			57%
現金·預金計	,	3,767,895		2. 都道府県支出金	3,748,598	
(2)未収金		,				
① 地方税	488,184			3. 一般財源等	42,962,102	
② その他	294,832					
未収金計		783,016				
流動資産合計		4,550,911		正味資産合計	56,491,482	
資 産 合 計		98,288,552	100%	負 債·正 味 資 産 合 計	98,288,552	100%

※債務負	与归仁为	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	法遗华
-X-18 //	3 4 H 1 I 🛵	コーコポる)作用 目 🖶

①物件の購入等に係るもの 2,000 千円

②債務保証及び損失補償に係るもの 1,330,000 千円

5. バランスシートから分かること



- (1) 平成 16 年度末の本市の資産総額は 982 億 8,855 万 2 千円となっており、一方負債総額は、417 億 9,707 万円で、資産から負債を差し引いた正味資産は 564 億 9,148 万 2 千円となっています。
- (2) 資産の部では、土地、建物を中心とした有形固定資産が869億6,073万6千円で資産全体の88%を占めています。残りは、基金、投資及び出資金、貸付金、未収金等で、113億2,781万6千円となっています。

有形固定資産を行政目的別に見ると、行政分野ごとの資産形成比重が分かります。土木費(都市計画、道路等)51.8%と教育費(小中学校の用地、校舎等)24.2%が大きな割合を占め、また、有形固定資産のうち土地が29.2%を占めています。

- (3) 負債の部では、本市の借金に当たる地方債が固定負債、流動負債を合わせて361億402万2千円で負債全体の86.4%、退職給与引当金が56億9,304万8千円で13.6%を占めています。
- (4) 正味資産の部では、国及び県からの補助金等が 135 億 2,938 万円で正味資産 23.9 の%、市税等の一般財源が 429 億 6,210 万 2 千円で 76.1%を占めています。

6. バランスシートによる財務分析

(1) 社会資本形成の世代間負担比率(正味資産/有形固定資産)

社会資本の整備の結果を示す有形固定資産のうち、正味資産による整備の割合を見ることによって、これまでの世代によって既に納付された税金等によって社会資本が整備された割合を示すものであり、この比率が高いほど、将来世代の負担分が少ないといえます。

約 65.0%がこれまでの世代の負担により整備されており、35.0% をこれからの世代が負担することになります。

(2)予算額対資産比率

歳入総額に対する資産の比率を計算することにより、ストックである資産の形成に何年分の歳入が充当されているかが分かります。

16年度末の資産合計で約3.8年分,有形固定資産では約3.4年分の歳入に相当する額がストックされていることになっています。

(3) 有形固定資産の行政目的別割合

有形固定資産の行政目的別割合を見ることにより、行政分野ごとの 資産形成の比重を把握することができます。

なお,他市との比較検討を行うことにより,本市の資産形成の特徴を把握することができます。

(単位:%)

	総社市	津山市	玉野市	笠岡市
	(16 年度)	(16年度)	(16 年度)	(16 年度)
総務費	5.3	6.8	6.7	2.8
民生費	4.1	3.1	4.1	2.6
衛生費	1.6	4.2	7.6	2.1
労働費	0.4	0.2	0.1	0.1
農林水産業費	6.8	12.3	6.1	12.5
商工費	3.9	1.0	3.1	0.5
土木費	51.8	38.1	34.9	43.3
消防費	1.9	0.5	1.2	0.3
教育費	24.2	33.8	36.2	35.7
その他	0.0	0.0	0.0	0.1

(4) 市民1人当たりのバランスシート(平成17年3月31日現在) ※バランスシートを平成17年3月31日現在の総社市の住民基本台 帳人口66.827人で除したものです。

(単位:千円)

	借方		貸方		
	1. 有形固定資産	1,301	1. 固定負債	590	
	2. 投資等	101	2. 流動負債	35	
	3. 流動資産	68	負債合計	625	
			1. 国・県支出金	202	
			2. 一般財源等	643	
			正味資産合計	845	
Ş	資産合計	1,470	負債・正味資産合計 1	,470	

総社市市民一人当たりのバランスシートを見てみると、市民一人当たり 147万円の資産を保有しており、その約 42.5%に当たる 62 万 5 千円が負債、残りの約 57.5%に当たる 84 万 5 千円が正味資産となっています。つまり、総社市民一人当たり、将来にわたって公共サービスを提供することができる価値が 147 万円あるものの、将来返済すべき債務も 62 万 5 千円あるということになります。

					(単位:千円)
			取得価額	減価償却累計額	残存価額
			A	В	A-B
総	<u>务費</u>	h-1-	7,640,388	3,004,686	4,635,702
	庁舎		2,020,065	768,516	1,251,549
	その)他	5,620,323	2,236,170	3,384,153
民约	主費		5,425,729	1,823,368	3,602,361
	保育		850,891	240,186	610,705
	その)他	4,574,838	1,583,182	2,991,656
衛生	主費		4,022,529	2,643,658	1,378,871
	清掃		2,060,416	1,395,804	664,612
		ごみ処理	855,861	435,031	420,830
		し尿処理	1,179,356	950,564	228,792
		その他	25,199	10,209	14,990
		竟衛生費	1,417,073	890,808	526,265
	その	D他	545,040	357,046	187,994
労債	動費		805,917	413,452	392,465
農材		産業費	16,852,135	10,959,699	5,892,436
	造材	†	101,596	32,433	69,163
	林道		1,273,792	880,962	392,830
	治山	4	88,762	30,806	57,956
	砂队	方	757	450	307
	漁港	<u> </u>	0	0	0
	農第	 農村整備	11,811,599	8,006,932	3,804,667
		岸保全	0	0	0
	その		3,575,629	2,008,116	1,567,513
商	工費		4,163,771	811,601	3,352,170
		2公園等	29,760	11,735	18,025
	観光		3,084,408	463,514	2,620,894
	その		1,049,603	336,352	713,251
土	木費		71,982,515	26,979,771	45,002,744
	道路	各	27,367,333	15,733,864	11,633,469
		りょう	2,824,927	311,824	2,513,103
	河川		2,081,858	329,526	1,752,332
	砂队		0	0	0
		; 岸保全	0	0	0
	港灣		0	0	0
		計画	38.455.763	10,039,932	28,415,831
	HI211	街路	12,986,787	4,086,175	8,900,612
		都市下水路	1,571,993	1,089,512	482,481
		区画整理	11,792,019	2,778,641	9,013,378
		公園	11,885,158	1,952,074	9,933,084
		その他	219,806	133,530	86,276
	住宅		1.022.916	496,988	525,928
	空港		1,022,310	0	<u> </u>
	その		229,718	67,637	162,081
当区	方費		3,881,296	2,268,920	1,612,376
1 □ 14	庁倉	<u>></u>	970,914	154,620	816,294
	その		2,910,382	2,114,300	796,082
数:	う う費		29,029,218	7,980,981	21,048,237
7X F	小学	2校	12,885,946	4,039,915	8,846,031
		学校	5,791,722	1,730,891	4,060,831
		F1X 等学校	0	1,730,891	4,000,031
	幼科		3,610,761	751,715	2,859,046
		^{E图} 株学校	3,010,701	751,715	2,839,040
	大学		0	0	
					0
		重学校	4 940 049	0	0 004 000
		◆教育	4,240,948	956,925	3,284,023
7 -	その	기민	2,499,841	501,535	1,998,306
70	の他		79,376	36,002	43,374
合語	+		143,882,874	56,922,138	86,960,736
	•			- 0,022,100	30,000,700

土地明細表

(単位:千円)

	取得価額
道路橋りょう	6,592,739
掛路	4,510,935
公営住宅	142,345
小学校	1,813,834
中学校	365,699
その他	11,954,777
A =1	27 222 222
合計	25,380,329

国•都道府県支出金算出表

(単位:千円)

総務費庁		償却対象分(償去 国庫支出金	県支出金	償却対象外 国庫末山会	県支出金	合計	
庁		四件又山亚	जर ⊻ । । । नर				県支出金
庁		Al	来文出业 B	国庫支出金 C	宗文山並 D	国庫支出金 A+C	乐文山並 B+D
庁	书	115,526		0			
		113,326	160,562	0	1,071 566	115,526 0	161,633
	舌 の他	115,526	3,386 157,176	0	505	115,526	3,952 157,681
民生費		168,977	736,657	37	1,376	169,014	738,033 7,744
	<u>:育所</u> ·の他	7,721 161,256	7,744 728,913	0 37	1,376	7,721 161,293	730,289
衛生費		281.773	286.158		1,370		
	<u>₹</u>	, , , , , ,	,	0	0	281,773	286,158
月	が ごみ処理	264,063	272,372	0	0	264,063	272,372
	し尿処理	43,263	41,466 145,152	0	0	43,263 134,585	41,466
	その他	134,585 86,215	,	0	0	86,215	145,152
理	境衛生費	00,213	85,754 5,980	0	0	00,213	85,754 5,980
	の他	17,710	7,806	0	0	17,710	7,800
労働す	-	0	0	429	53	429	55
	₹ K産業費	408	1,804,389		117.189		
	林	0	30,257	43,695 2,291	817	44,103 2,291	1,921,578
	<u>M</u> 道	0	54,453	3,010	7,961	3,010	31,074 62,414
	`但 ``山	0	,	,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	
	i <u>山</u> >防	0	31,072 136	1,944	1,753 2	1,944 0	32,825
	/ <u>)))</u> 港	0	130	0	0	0	138
	∖ <u>冷</u> ≵業農村整備	0	1,049,846	5,477	81,750	5,477	1,131,596
	未長刊笠順 詳保全	0	1,049,840	0	81,750	0,477	1,131,390
	の他	408	638,625	30,973	24,906	31,381	663,531
商工費	-	2,198	154,356	15	455	2,213	154,811
		<i>'</i>	,			,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	立公園等	0	10,080	0	0	0	10,080
	<u>光</u> の他	0 2,198	137,285 6,991	0 15	396 59	0 2,213	137,681 7,050
土木書			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2,220,590			•
	i路	3,609,100 160,764	172,516 55,894	510,657	75,306 44,562	5,829,690 671,421	247,822
	りょう	100,764	29,808	56,168	44,362	159,735	100,456 29,808
	 	80,316	27,964	116,554	3,838	196.870	31,802
_	·防	00,310	0	110,554	0	190,870	31,002
	· <u>////</u> i岸保全	0	0	0	0	0	(
	湾	0	0	0	0	0	(
	7月 3市計画	3,196,810	53,669	1,521,896	26,906	4,718,706	80,575
1917	街路	438,537	_		_		
	都市下水路	436,337	1,030	1,110,362	4,892	1,334,919	5,922
	区画整理	1,028,461	6,930	18,417	13,033	1,046,878	19,963
	公園	1,028,461	40,401	387,097	13,033	2,109,091	40,401
	公園	7,818	5,308	387,097	8,981	7,818	14,289
仕	ての他 宅	65,515	3,538	15,315	0,981	80,830	3,538
	: 七 !港	05,515	<u> </u>	15,515	0	00,630	3,330
	./で ·の他	2,128	1,643	0	0	2,128	1,643
消防費		44.497	7,041	3,370	127	47,867	7,168
	· :舍	0	6,032	3,370	0	47,807	6,032
	百 の他	44,497	1,009	3,370	127	47,867	1,136
教育書		3,250,119	231,284	40,048	58	3,290,167	231,342
	₹ √学校	1,735,218	259	38,408	0	1,773,626	251,342
	· <u>于权</u> ·学校	824,733	0	38,408	0	824,733	
	等学校	024,733	0	0	0	024,733	
	 	257,735	9,229	0	0	257,735	9,229
	·殊学校	0	9,229	0	0	0	J,&&3
	: :学	0	0	0	0	0	
	· <u>丁</u> ·種学校	0	0	0	0	0	
	会教育	384,770	220,873	1,106	0	385,876	220,873
	<u>. 云 玖 月</u> · の他	47,663	923	534	58	48,197	981
その他		0	0	0	0	0	(
	_					_	
合計		7,472,598	3,552,963	2,308,184	195,635	9,780,782	3,748,598

普通建設事業費に係る補助金・負担金等の状況

(単位:千円)

	昭和44年度					
	以降累計額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
総務費	193,403	7,471	1,985	0	0	2,330
民生費	821,170	93,590	65,766	28,980	16,765	20,923
衛生費	1,273,726	80,844	99,153	104,920	71,616	63,955
労働費	3,000	0	0	0	0	0
農林水産業費	4,911,859	138,549	122,826	125,604	84,898	91,094
商工費	94,744	5,256	2,701	0	0	0
土木費	2,611,678	48,137	66,714	59,957	62,843	101,711
消防費	35,283	0	0	0	0	0
教育費	215,272	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	10,160,135	373,847	359,145	319,461	236,122	280,013

⁽注) 国直轄事業負担金、県営事業負担金、同級他団体・公的団体等に対する普通建設事業 に係る補助金等をとりまとめたものである。